

政策会議報告

日時：平成30年6月29日（金） 14時00分～14時40分

場所：第2応接室

議題：ICTタスクフォースの設置について

出席者：市長、尾原副市長、山崎副市長、企画財政部長、財政課長

<事務局> 政策企画課長、同課係長

<所管部局> 情報システム課長、同課長補佐、同課係長

【審議の概要】

(1) 事案の説明

- ・市民ニーズの高度化や多様化、厳しい財政事情、人員の制約、ICT技術の進展を背景として、現状として職員には時間的な余裕がなく、事務ミスの発生やクリエイティブな発想の不足といった課題が浮き彫りとなっている。
- ・そのような課題を解決するため、庁内横断的な検討の下、ICT（AI・RPA等）の導入を推進することで、時代に即した行政サービスを提供するとともに、職員の事務ミスを低減し、クリエイティブワークへのシフトを促す。また、ICT導入による行政コストの縮減も図る。
- ・ICTを活用した課題解決を図るための実施体制として、尾原副市長及び各部長で構成される「IT高度利用協議会」及びその下部組織として「ICTタスクフォース」を設置する。
- ・ICTタスクフォースは「AIタスクフォース」と「RPAタスクフォース」で構成し、職員課・総務課・政策企画課・情報システム課・各業務所管課により検討や実証実験、効果測定を行う。
- ・AIやRPAに限らず、新たなソリューションの活用検討の要望があった際は、都度チームを構成していく。
- ・スケジュールとしては、7月1日付でICTタスクフォースを発足した後、平成30年度は対象業務の検討や実証実験、効果測定を行い、平成31年度にAI・RPAツールの導入を図る。財政課との協議次第であるが、可能であれば平成30年度中からの導入を目指す。
- ・平成31年度から5か年を期間とする「情報化実行計画」において、ICTタスクフォースを位置づける。

(2) 主な質疑

- ・情報化実行計画の全体像が不明瞭な中で、ICTタスクフォースを位置づけることは難しいのではないか。
- ・対象となる業務はどのように選定するのか。

(3) 審議結果

AIやRPAの導入に向けた検討を進めることは了承する。なお、ICTタスクフォースの設置については、IT高度利用協議会の在り方を含めて、改めて審議するものとする。

今後の全庁的な先進ICTの推進については、現在策定中の情報化実行計画の後続計画において審議するものとする。